

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年2月

応募者名：北海道 十勝総合振興局 帯広建設管理部

事業の名称：帯広圏都市計画道路事業
3・3・8号弥生通(2工区)

実施都市名：北海道帯広市

事業目的

弥生通は、国道38号線の札内橋取付部を起点とし、札内川沿いに南進して東西に伸び国道236号線、道道八千代帯広線、弥生新道に接続する街路であり広域的な交通ネットワークを形成する主要幹線道路です。帯広都市圏における1環状4放射道路の役割を担う都市計画道路であり帯広市内を周回する環状道路として期待されています。市民の日常的な活動、交流をはじめ安全で安心できる交通環境を作り、快適な歩行者空間の確保、また円滑な産業活動などを支える機能を有しており、市民生活に密着した基盤となる道路となります。

事業概要

事業名称: 帯広圏都市計画道路事業3・3・8号弥生通 (2工区)

路線名: 道道幕別帯広芽室線

事業箇所: 帯広市東10条南16丁目～帯広市東4条南26丁目

事業延長: 約1,700m

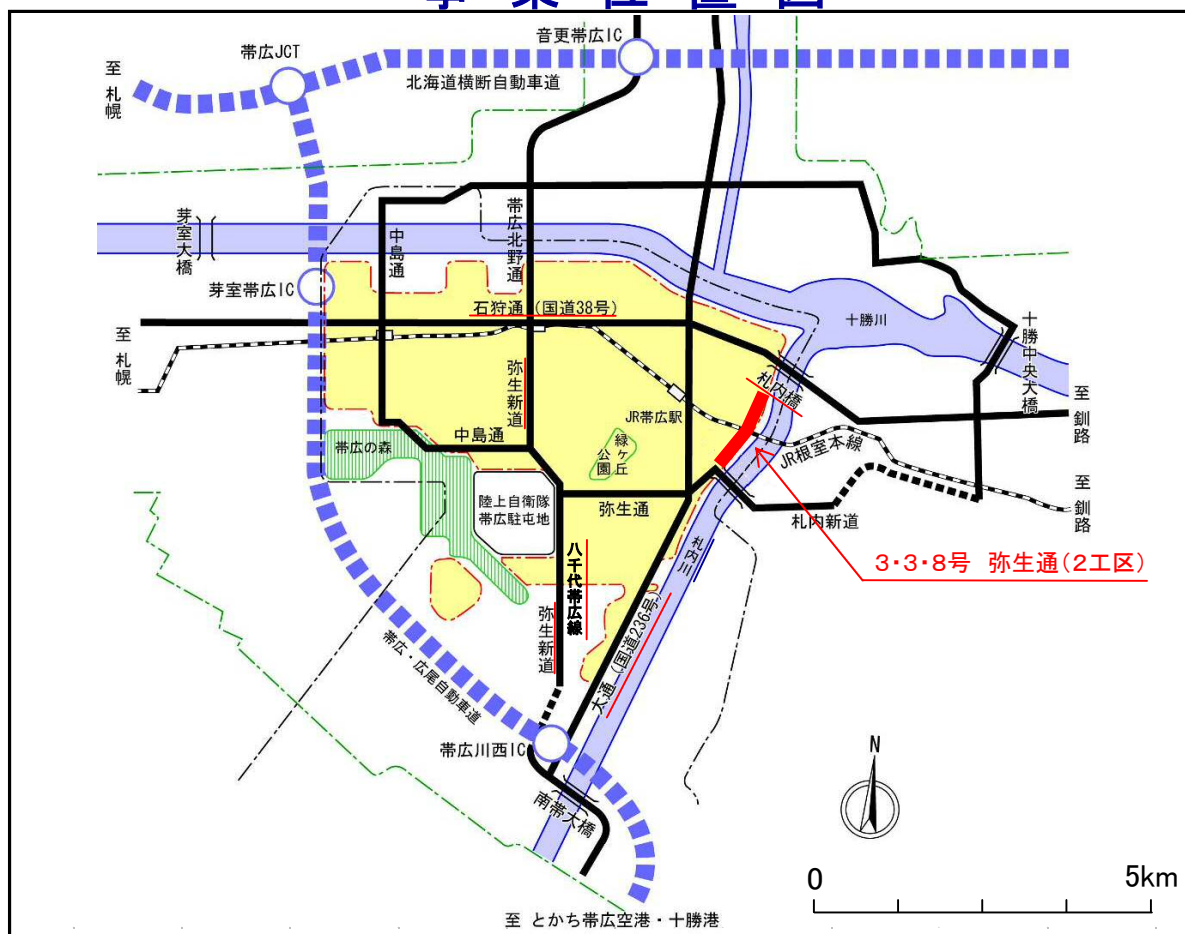
幅員: 幅員25～42m(4車線)

事業費: 約56億円

事業実施期間: 平成14年度～平成22年度

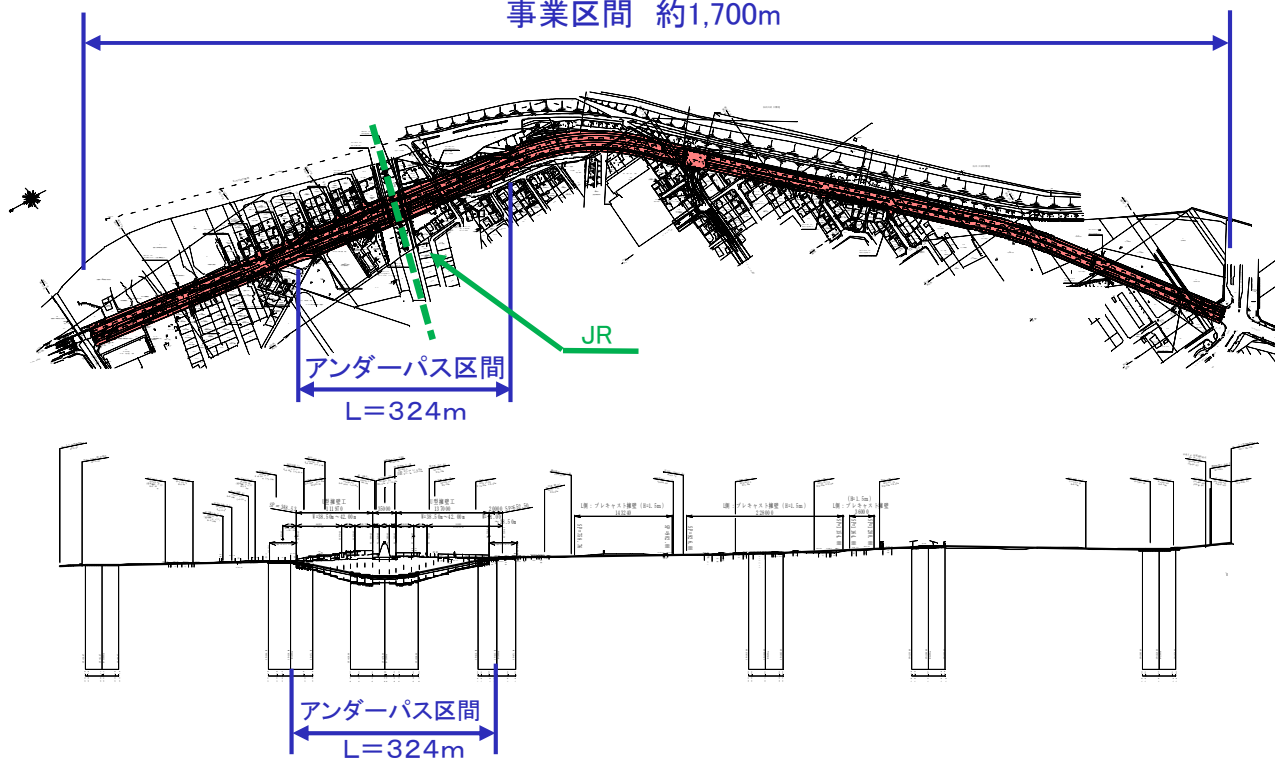
本事業は、弥生通の一部を構成する延長1.7kmの街路を整備したものです。JR根室本線によって南北に分断されていた交通流を結ぶため、アンダーパス形式による立体交差の整備を行った。アンダーパス部分の施工には新工法を採用したことにより、JR軌道に影響を与えることなく経済性に寄与した整備を行うことが出来た。

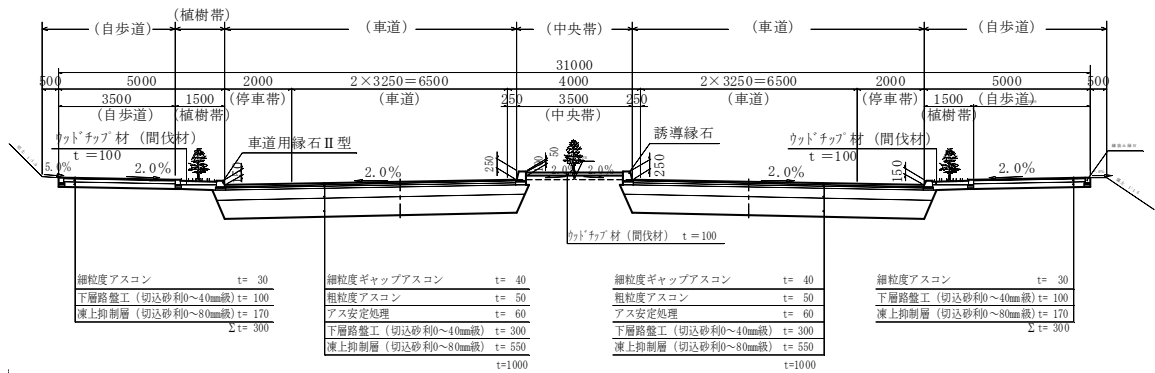
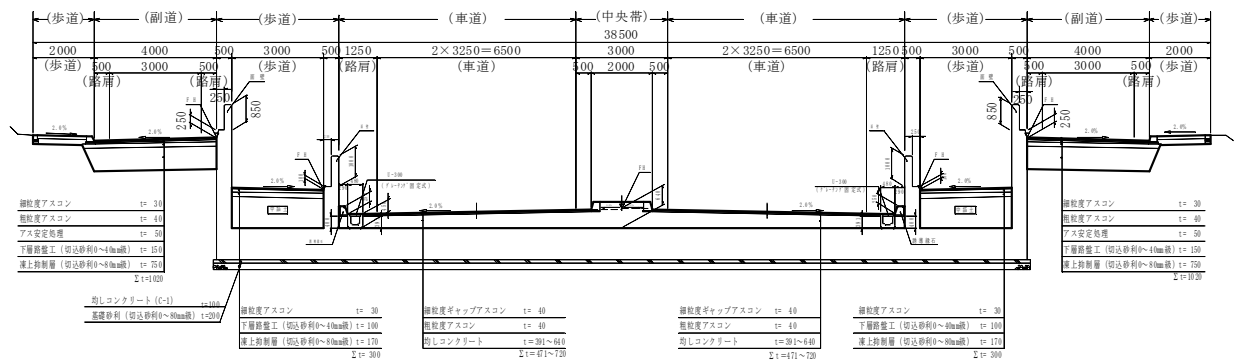
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

事業区間 約1,700m





3・3・8弥生通の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名称: 帯広圏都市計画道路事業3・3・8号弥生通(2工区)
 路線名: 道道幕別帯広芽室線
 事業箇所: 帯広市東10条南16丁目～帯広市東4条南26丁目
 事業延長: 約1,700m
 幅員: 幅員25～42m(4車線)
 事業費: 約56億円
 事業実施期間: 平成14年度～平成22年度

○整備効果(交通量調査結果)

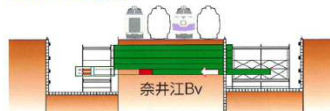
3・3・8 弥生通(2工区)の整備延長により、**交通量が増加し**、**旅行速度も最大で5.6km/hの増加**がみられ、自動車交通の**走行性の向上**が図られました。また、整備前にみられた**渋滞が解消し**、**滞留も減少**しました。



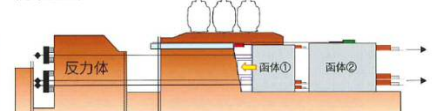
○新工法の採用

HEP&JES工法の採用により従来工法と比べ安価となるだけでなく、工期の短縮、施工ヤードの縮小、既存施設(JR)への影響を抑えることが可能となった。

HEP&JES工法



従来工法



事業前写真

平成17年11月撮影



平成17年5月撮影



平成17年3月撮影



事業後写真

平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影

